

# 電子情報通信学会ワードテンプレート (タイトル) for CCS — 技術研究報告形式 (サブタイトル) —

電子 花子<sup>†</sup> 情報 太郎<sup>‡</sup> 通信 次郎<sup>‡</sup>

<sup>†</sup> 第一大学工学部 〒105-0123 東京都港区山田 1-2-3

<sup>‡</sup> 大阪株式会社開発部 〒565-0456 大阪府吹田市河田 4-5-6

E-mail: <sup>†</sup> hanako@denshi.ac.jp, <sup>‡</sup> {taro, jiro}@jouhou.co.jp

あらまし Microsoft Word による電子情報通信学会技術研究報告形式のテンプレートファイルです。  
キーワード Windows, Word, 信学技報, テンプレート

## IEICE Word Template (Title) for CCS — The Format of Technical Report (Subtitle) —

Hanako DENSHI<sup>†</sup> Taro JOUHO<sup>‡</sup> and Jiro TSUSHIN<sup>‡</sup>

<sup>†</sup> Faculty of Engineering, First University 1-2-3 Yamada, Minato-ku, Tokyo, 105-0123 Japan

<sup>‡</sup> R&D Division, Osaka Corporation 4-5-6 Kawada, Suita-shi, Osaka, 565-0456 Japan

E-mail: <sup>†</sup> hanako@denshi.ac.jp, <sup>‡</sup> {taro, jiro}@jouhou.co.jp

**Abstract** IEICE (The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers) provides a word template file for the Technical Report of IEICE.

**Keywords** Windows, Word, Technical Report, Template

## スライドでの原稿作成の注意事項1

- 原稿1ページ目は従来の原稿の1ページ目（和英タイトル・和英アブスト）を用いてください
  - スライドを含んだ原稿は2ページ目以降となりま  
す。タイトルページとスライド原稿をPDF結合等で  
繋げてください。
- スライドでの原稿作成には**原則CCSwebに公開している指定されたテンプレート**を使用してください。

1

## スライドでの原稿作成の注意事項2

- 1ページあたりのスライド数は4枚（**4枚1ページに集約**）としてください。
- 2ページ以降の余白を「**上部2.5cm, 下部1.5cm, 左右各1.5cm**」空けてください。また、余白部分には、ページ番号や日付等の情報は含めないようにしてください（**大学・企業名, 研究室名も不可**）。Adobe Acrobatを用いて作成した詳細を別紙に記載しましたので、ご参照ください。

2

## スライドでの原稿作成の注意事項3

- **本予稿は電子情報通信学会の出版物**として扱われます。したがって、特にスライドの図、表の取り扱いには十分ご注意ください。**他のwebページなどから転用した場合、その出展を明示**してください。
- 本予稿は**白黒印刷**されます。カラー画像・写真も白黒で印刷されますゆえ、十分ご留意の上、作成くださいますようお願いいたします。

3

## スライドでの原稿作成の注意事項4

- 参考文献を多く載せてください。記述方法は、従来の原稿のスタイルでの記述、または、スライド内への記述のどちらでもかまいません。

4

## その他

- 投稿方法等につきましては、電子情報通信学会「研究会への投稿」をご覧ください  
<http://www.ieice.org/jpn/kenkyuukai/toukou.html>

5

## 参考文献

- [1] (雑誌の場合) 著者名, “標題,” 雑誌名, 巻, 号, pp. を付けて始め一終りのページ, 月(英語)年.
- [2] (雑誌例1) 山上一郎, 山下二郎, “パラメトリック増幅器,” 信学論(B), vol.J62-B, no.1, pp.20-27, Jan.1979.
- [3] (雑誌例2) W. Rice, A. C. Wine, and B. D. Grain, diffusion of impurities during epitaxy, Proc. IEEE, vol.52, no.3, pp.284-290, March 1964.
- [4] (著書, 編書の場合) 著者名, 書名, 編者名, 発行所, 発行都市名, 発行年.
- [5] (著書, 編書例1) 山田太郎, 移動通信, 木村次郎(編), pp.21-41, (社)電子情報通信学会, 東京, 1989.
- [6] (著書, 編書例2) H. Tong, Nonlinear Time Series: A Dynamical System Approach, J. B. Elsner, ed., Oxford University Press, Oxford, 1990.

6

## 参考文献

- [7] (著書の一部を引用する場合) 著者名, “標題,” 書名, 編者名, 章番号またはpp.を付けて始め一終りのページ, 発行所, 発行都市名, 発行年.
- [8] (著書の一部引用例1) 山田太郎, “周波数の有効利用,” 移動通信, 木村次郎(編), pp.21-41, (社)電子情報通信学会, 1989.
- [9] (著書の一部引用例2) H. K. Hartline, A. B. Smith, and F. Ratliff, Inhibitory interaction in the retina, in Handbook of Sensory Physiology, ed. M. G. F. Fuortes, pp.381-390, Springer-Verlag, Berlin.
- [10] (国際会議の場合) 著者名, “表題,” 会議名, no.を付けて論文番号, pp.を付けて始め一終りのページ, 都市名, 国名, 月(英語)年.
- [11] (国際会議例) Y. Yamamoto, S. Machida, and K. Igeta, “Micro-cavity semiconductors with enhanced spontaneous emission,” Proc. 16th European Conf. on Opt. Commun., no.MoF4.6, pp.3-13, Amsterdam, The Netherlands, Sept.1990.

7

## 参考文献

- [12] (国内大会, 研究会論文集の場合) 著者名, “標題,” 学会論文集名, 分冊または号, no.を付けて論文番号, pp.を付けて始め一終りのページ, 月(英語)年.
- [13] (国内大会, 研究会論文集例) 川上三郎, 川口四郎, “紫外域半導体レーザ,” 1995信学全大, 分冊2,no.SB2-1,pp.20-21,Sept.1995.

8